Amazonプライム・ビデオ／Amazonビデオ

最終更新日：2016/02/29

運営事業者： アマゾン ジャパン株式会社

事業者のタイプ： ネット企業

サービス開始： 2013年11月

SVODはプライム会員向けの特典の一貫として提供
SVODは比較的新しい作品・大作映画が揃っている
男性比率が高い

A.戦略

①サービス仕様

契約形態

SVOD	✔
TVOD	✔
EST	✔
AdVOD	

配信形態

ストリーミング	✔
ダウンロード	✔

視聴可能デバイス

PC	✔
スマホ・タブレット・STB等	✔
インターネット対応TV	✔
据え置き型ゲーム機	-
携帯型ゲーム機	-
独自端末	✔

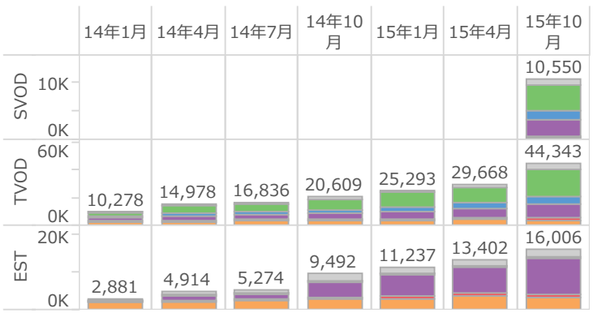
独自端末:Kindle Fire／FireTV／Fire TV Stick

最高画質	フルHD／HDまで

②ラインナップ

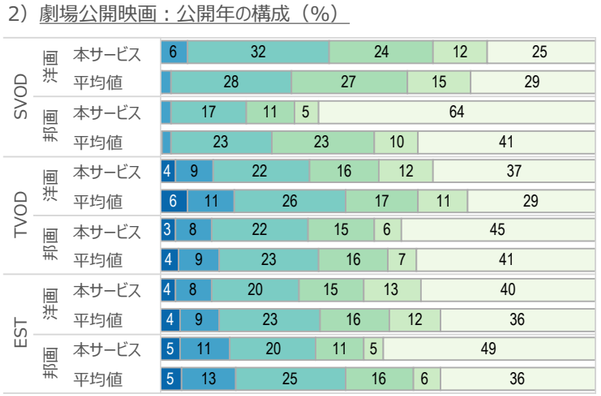
1）タイトル数の推移

洋画　邦画　海外ドラマ　日本ドラマ　テレビアニメ　その他

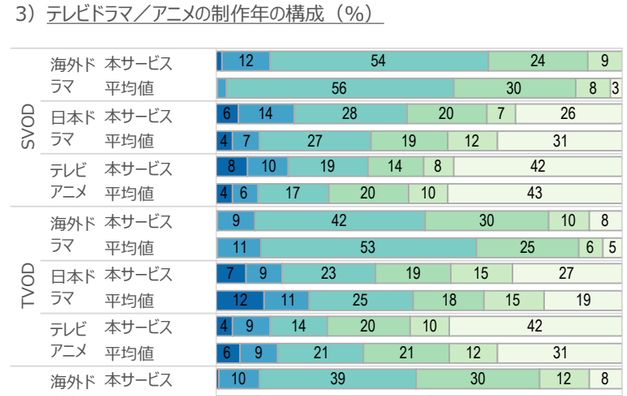


		14年1月	14年4月	14年7月	14年10月	15年1月	15年4月	15年10月
SVOD	洋画							214
	邦画							413
	海外ドラマ							2,911
	日本ドラマ							1,425
	テレビアニメ							4,593
	その他							994
TVOD	洋画	2,046	2,627	2,928	3,189	3,204	3,872	3,440
	邦画	686	710	989	1,127	1,273	1,357	1,569
	海外ドラマ	2,461	3,502	3,542	4,525	5,376	7,116	10,145
	日本ドラマ	1,000	1,888	2,102	2,064	3,116	3,492	5,489
	テレビアニメ	3,430	5,203	5,857	8,117	10,596	11,822	19,254
	その他	655	1,048	1,418	1,587	1,728	2,009	4,446
EST	洋画	1,985	2,188	2,427	2,711	2,933	3,534	3,051
	邦画	223	243	547	598	724	753	854
	海外ドラマ	229	1,247	1,251	4,364	5,927	7,423	9,736
	テレビアニメ	13	235	25	28	81	70	499
	その他	431	1,001	1,024	1,791	1,572	1,622	1,866

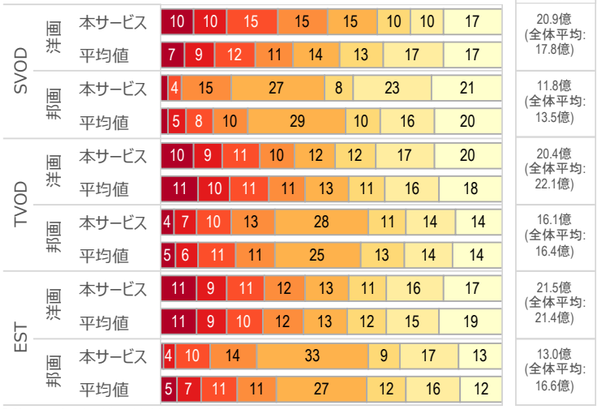
2）劇場公開映画：公開年の構成（%）



3）テレビドラマ／アニメの制作年の構成（%）



2）劇場公開映画：最終興収の構成（%）



		平均最終興収
SVOD 洋画	本サービス	20.9億 (全体平均: 17.8億)
	平均値	
SVOD 邦画	本サービス	11.8億 (全体平均: 13.5億)
	平均値	
TVOD 洋画	本サービス	20.4億 (全体平均: 22.1億)
	平均値	
TVOD 邦画	本サービス	16.1億 (全体平均: 16.4億)
	平均値	
EST 洋画	本サービス	21.5億 (全体平均: 21.4億)
	平均値	
EST 邦画	本サービス	13.0億 (全体平均: 16.6億)
	平均値	

映画の劇場公開年とテレビドラマ／アニメ制作年の凡例

2015年　2010-2013年　2000-2004年
2014年　2005-2009年　1999年代以前

最終興収区分の凡例

50億+　20-30億　10-15億　5-7.5億
30-50億　15-20億　7.5-10億　3-5億

劇場公開映画の公開年／最終興収の構成比、テレビドラマ／アニメの制作年は2015年10月時点の値

・タイトル数：洋画・邦画の場合は各作品を1タイトルとしてカウント
　その他のコンテンツについては各動画コンテンツを1タイトルとしてカウント
・経過年数：劇場公開された映画について分析
・最終興収：2000年以降に劇場公開された最終興収3億円以上の映画について分析
・平均値はサービスタイプ毎に各サービスのタイトル数を合計して算出

B.実績

①事業規模

2015年の事業規模

	2015年10月時点の推計利用者数	2015年推計売上
SVOD	720千人	7億円
TVOD	502千人	12億円
EST	500千人	15億円

②浸透度

2015年10月時点の浸透度

	利用率	利用意向	サービス認知率
SVOD	1.5%（平均の1.4倍）	2.6%（平均の1.1倍）	14.8%（平均の1.0倍）
TVOD	1.0%（平均の0.8倍）	2.3%（平均の1.0倍）	13.3%（平均の0.9倍）
EST	1.0%（平均の0.8倍）	2.7%（平均の1.0倍）	19.1%（平均の1.0倍）

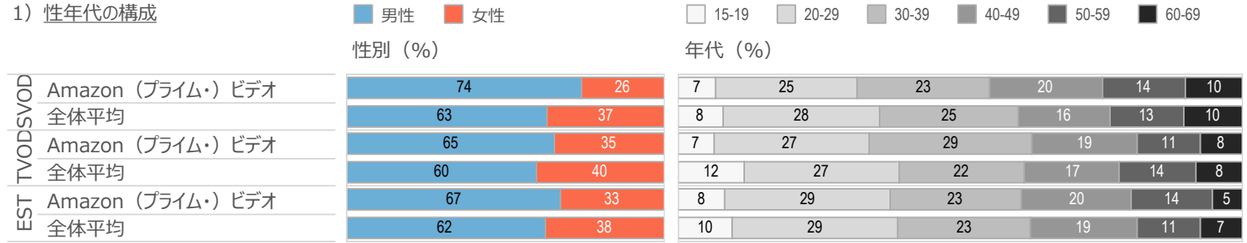
セルの色分けは
サービスタイプ平均に対する倍率
色分けの凡例
0.5　2.0

・利用意向は利用率を含まない
・サービス認知は利用率／利用意向を含む

③利用者属性

1）性年代の構成

男性　女性　　15-19　20-29　30-39　40-49　50-59　60-69



数値は2015年10月調査時点の値

2）コンテンツに対する考え方

絶対値が高い項目TOP5

#	項目	割合	サービスタイプ毎の平均	平均に対する倍率
1	気軽に観られる番組や映画が好きだ	**69.1%**	69.3%	1.00
2	自分が気に入った番組や映画なら周りが観ているかは気にならない	**65.8%**	70.1%	0.94
3	のめり込める番組や映画が好きだ	**64.0%**	65.8%	0.97
4	過去の有名な番組や映画を観たい	**61.7%**	65.7%	0.94
5	好きな番組や映画は何回も観ることがある	**57.9%**	65.6%	0.88

サービスタイプ毎の平均に対する倍率が高い項目TOP５

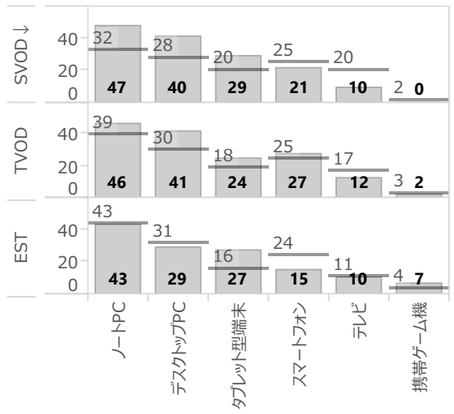
#	項目	割合	サービスタイプ毎の平均	**平均に対する倍率**
1	本は電子書籍で読みたい	43.3%	40.8%	**1.06**
2	2020年までにTVを買い換えたい	54.4%	53.0%	**1.03**
3	気軽に観られる番組や映画が好きだ	69.1%	69.3%	**1.00**
4	映像コンテンツはネット配信を利用したい	52.2%	52.9%	**0.99**
5	連続ドラマやアニメの見逃し配信をよく利用する	44.2%	45.0%	**0.98**

数値は2015年10月調査時点の値

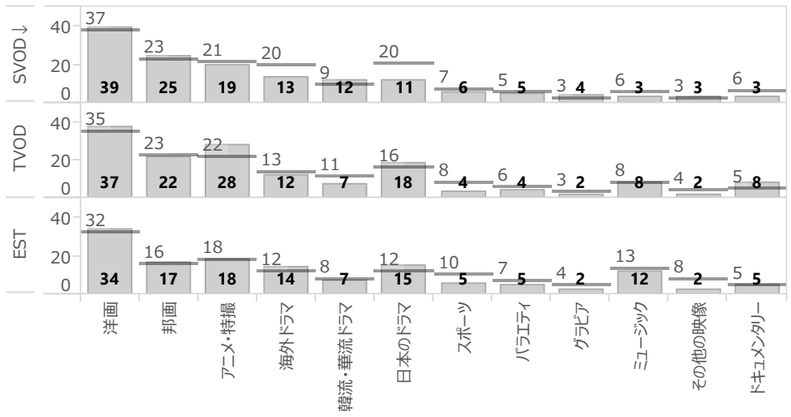
・複数のサービスタイプがあるサービスについては、利用率が最も高いサービスタイプを掲載
（「Amazon（プライム・）ビデオ」については、SVODの値を掲載）
・「サービスタイプ毎の平均」は、各サービスで利用率が最も高いサービスタイプの値を平均したもの（利用者数は考慮せず単純平均）

④利用実態（SVOD／TVOD／ESTのみ）

1）鑑賞デバイス（%）



2）鑑賞コンテンツ（%）



数値は2015年10月調査時点の値、各項目の横線はサービスタイプ毎の平均値

・利用率が最も多いサービスタイプ（→がついているサービス）の値で降順に表示
・AdVODのデータはなし
・アンケート調査であるため、そのサービスが実際には取り扱っていない回答をしている場合がある